

令和8年度”第5回希望の花プロジェクト”開催について

認知症地域支援推進員より、下記の通り企画提案します。

1. 企画書のタイトル

「アルツハイマーDay～希望の花プロジェクト～」

2. 目的と背景、提案理由

目的：認知症になっても、自分らしく地域で暮らし続けられる社会の実現に向け、全国でさまざまな活動が行われている。今年度は本事業が第5回の節目の年であるため、倉吉駅前「エキパル倉吉」を会場として開催したい。倉吉農業高校環境科フラワーガーデンコースの生徒・教員には、認知症のシンボルカラーであるオレンジ色のマリーゴールドの育苗に協力いただく予定であり、担当の遠藤先生からも了承を得ている。また、地域ケアセンターマгноリアおよび倉吉病院からも、今年度の共催について協力の意向を確認している。9月の実施日には、認知症当事者や家族、地域住民、福祉関係者、市職員等が、生徒の指導のもと、オレンジ色の花と一緒に植える予定である。

背景：令和6年1月施行の「認知症基本法」では、「認知症を自分事として捉える新しい認知症観」の普及が求められている。本事業は、認知症当事者が自らの言葉で、これからの倉吉市をどうしたいかということについて発信する機会となる。

3. 提案内容

実施日：9月4日（金）

開始時間：14時00分～16時頃まで

内 容：認知症本人・家族・学生・包括・福祉施設などの多職種で花の苗をプランターに植え交流を図る。

4. 効 果

- ・認知症本人や家族にやりがいやボランティアの喜びを感じて頂く。
- ・にっこりの会や本人ミーティング以外での仲間作り。
- ・アルツハイマー月間のことを住民の方へ周知することで、新しい認知症観を啓発。
- ・農高の科目の中に“生物活用”があり取り組みを授業の一環とすることができる。